県民だより

1月号 No.285

昭和57年1月1日発行
2月号は2月2日に発行されます。

■編集・発行　静岡県広報課
静岡市追手町9－6　〒420
電話　0542（21）2233

愛犬に変わらぬ愛を

ことしは戌年。犬といえば「花咲じいさん」「忠犬ハチ公」など人間のよき協力者でした。ところが今では、ペットとしてもてはやされ、犬専用の美容院からホテルまであるほどです。でも一方では、無責任な飼い主も後を断ちません。犬の飼い方は、飼い主の人間性が表れます。あなたの愛犬に変わらぬ愛情を！

ちなみに県内の畜犬登録数を見ると、昭和55年は134,426頭。53年の136,688頭を頂点にゆるやかな下降線をたどっています。

静岡学園高校陸上部

明日へダッシュ!!

静岡県知事　山本敬三郎

あけましておめでとうございます。

みなさんには、ご家族そろってさわやかに新年をお迎えになられたことと、お慶び申し上げます。

新しい年を迎えますと、そのたびにまた新しい夢と希望がわいてまいります。

さて、昭和五十七年は、深刻なオイルショックから見事に立ち直り、経済の面では優等生といわれるわが国にとって、前途に明るい展望が開けてはいるものの、なお大きな課題をかかえている年でもあります。

と、申しますのも、最近、大きな問題となっております貿易摩擦が、不均衡是正を求める国際世論となって、いよいよ激しくわが国に迫ってくることが必至の情勢にあるからであります。しかも国内的には、速度を早めてきている高齢化社会への対応、あるいは、新しい国民ニーズに適応していくために必要な行財政改革などに、直ちにとり組まなければなりません。

こうした厳しい経済社会の中にあって、今こそ静岡県のもっている優れた発展の可能性を見つめ直し、二十一世紀の展望にたった活力に満ちた県づくりを進めていかなければならないと考えます。

これからの産業は、省資源、省エネルギーを基調にして、最先端の技術はもとより中小企業ならではの創造性やアイデアをも、十分生かして行かなければなりません。この新しい動きは、また同時に、農林水産業や、伝統産業、地場産業など既存の産業をも同時に活性化させ、さらに一段と飛躍させるバネとなるものであります。

このような活力ある産業社会づくりにまっ先にとり組み成功させるのは、世界の技術先進国日本、なかでもその可能性をひめている静岡県でなければ、と思うのであります。

産、学、住が調和した都市づくり、テクノポリス構想を実現し、これをもとに先端技術を県下全域に波及させようというのも、こうした考えからであります。

すでに本県では、エレクトロニクス産業から、光産業、さらには生物化学産業など、これからの時代をリードする産業も活動しています。また、環境、文化、スポーツ、ファッションなどの新しい産業も伸びつつあります。加えて、農林漁業の分野においても、新しい技術への対応が意欲的に進められています。

このように私たちがめざす活力にみちた新しい産業づくりは、時代の大きな流れとなって、すでに動きはじめています。

この静岡県に住むことを、心から喜び合えるような、生き生きとして魅力あふれる地域づくり――それは、これからも積極的に進められなければなりません。私は、これまで潤いにみちた地域社会の実現や、心ゆたかな人づくりに市町村とともに取り組んでまいりました。

もとより地域づくりの主役は、その地域に住む住民のみなさんです。それぞれの地域にふさわしい産業や、個性ある文化、そして豊かで安全な生活の場づくりは、そうしたみなさんの創意と参加によってのみ築かれるものであります。

最近、県内各地ですたれていた古い神楽や太鼓、おみこしが復活、さらに公民館やカルチャーセンターに集まる人が増えてきております。また、東海地震に備えて地域の安全を自ら守るという、自主防災の組織も定着しつつあり、昨年の防災訓練には、二百十二万人という多くの県民の方々の参加をみるまでになっています。

このように活力と潤いと連帯感に満ちた新しい地域づくりは、今みなさんのそれぞれの地域において、真剣にとり組まれ、着実に前進しています。

今年も課題の多い年とは思いますが、みなさんとともに、一つ一つ乗りこえていけば、前途には、たいへん明るい展望が開けてまいるものと確信いたします。私たち職員一同といたしましても、徹底した行政の効率化を進めながら、これらの課題に全力をあげて取り組む覚悟でございます。

この活力ある県づくりにみなさんのご理解とご参加をお願い申し上げて、新年のごあいさつといたします。

活力に満ちた県づくり

県から お知らせ

県在住の外国婦人と語るつどい
―主婦の現状とこれからの生き方を考える―

多くの問題を抱える日本の主婦のこれからの生き方。本県在住の外国婦人にはどのように映っているのでしょうか。一緒に話し合ってみませんか。（通訳付きです）

日時　一月十九日、午後一時から四時まで
会場　県庁西館四階会議室
講師　美尾浩子氏（静岡女子大教授）、ベバリー・シダさん、カレン・ヒル・アントンさん、イシカワ・チエコさん
定員　二百五十人
受付締切　一月十一日
申込方法　往復ハガキに、住所・氏名・年齢・電話番号・職業や所属グループ等を記入し、〒四二〇　静岡市追手町九―六　県婦人対策室まで
問合せ　県婦人対策室☎〇五四二㉑二一三七

なお、質問のある方はあらかじめ申込みのハガキに記入し（長ければ封書で）お寄せください。

県労働専門講座

対象　中小企業経営者、労務担当者、労組幹部など
日時　二月十六日、午後一時から四時まで
会場　静岡市民文化会館
内容　「日本経済の動向と労働情勢」―'82春闘の展望―
講師　孫田良平氏（日本賃金研究センター）、辻謙氏（朝日新聞論説委員）、神代和欣氏（横浜国大教授）
募集人員　三百人
受講料　無料
受付期間　一月五日から三十日
申込み・問合せ　各労政事務所か県労政課☎〇五四二㉑二八〇六

中高年齢者のための〝労働福祉講座〟

対象　高齢化問題に関心のある方ならどなたでも
日時　一月十六日、午後一時から五時まで
一月二十三日、午前十時から午後五時まで
会場　浜松労政会館
内容　高齢化社会の現状、年金制度、健康管理など
募集人員　六十人
受講料　無料
受付締切　一月九日
申込み・問合せ　県西部労政事務所☎〇五三四㊹五四九一

県職員募集

職種　水産、電気（電子工学）
受験資格　昭和二十八年四月二日から三十五年四月一日までに生まれた方
選考日　一月二十日
受付期間　一月四日から十四日
申込み・問合せ　県人事委員会事務局（県庁東館十五階）☎〇五四二㉑二二七六

願書もこちらで

優良推せん図書

ユタとふしぎな仲間たち
三浦哲郎
毎日新聞社　九百八十円

東北の山の分教場へ、東京から転校してきたモヤシっ子の勇太。愉快で哀しい妖怪たちとの心温まる交友を通して勇太はたくましくなっていく。大人も楽しめる愛のメルヘン。

（小学校高学年以上）

海になみだはいらない
灰谷健次郎
学校図書　九百円

小学校四年生で、もぐりの得意な章太は自然の中で精一杯育つ。子どもにとってユートピアとは何かを考えさせる本。

（小学校中・高学年）

人間万事塞翁が丙午
青島幸男
新潮社　八百八十円

戦前から東京の下町にあった仕出し弁当屋の女主人「ハナ」を中心に、下町風俗の中での人情味あふれる物語が軽妙な文で描かれる。

（高校生・勤労青少年）

船キチ良平と氷川丸
柳原良平
国土社　九百八十円

太平洋戦争に生き残った唯一の一万トン級の貨客船氷川丸の活躍をつづった本。船に関する豊富な知識を与えてくれる。

（小学校高学年・中学生）

雨の日のドン
岡野薫子
小野かおる・絵
講談社　三百九十円

表題ほか「もういいかい」「エミちゃんとクマおばさん」の三編を収めた本。人間と動物たちが織りなすファンタジー。

（小学校全学年）

新春座談会

社会はいま大きく変わり始めている

これからの世の中、大きく変わるといわれます。では産業は、地域づくりは……身近な話題を中心に、各界でご活躍のみなさんに話しあっていただきました。

司会　まず、これからの産業社会はどう変わっていくかということです。

佐藤　本当にガラガラと音をたてて変わっていくと思います。

司会　いえ、そんなつもりはありません。これから日本は本当の意味で低成長経済を味わうことになると思うんです。貿易まさつの問題、住宅問題、低成長、低成長といわれ続けてきたわけですけど……

佐藤　これまでは、第二次石油ショックの問題をあっという間に乗り越えてきました。これがいつまでも続くわけじゃないとは本格的な低成長の時代があるだろうと思います。

司会　では、好調な自動車産業などうなっていくのですか。

佐藤　幸い本県では、浜松にテクノポリス構想もまとまってきたようだし、東部都市圏は製紙会社が相当自動車産業関連などに転換してきている。中部がやや遅れていますが、これも浜松テクノポリスを中心にした先端技術の波及効果などで新しい産業基盤がでてくるでしょうし、またなければなりません。

知事　これから脱工業化社会といわれますね。工場は街から出ていき、街はまさに住みよさの純粋性を追求できるようになる。つまり、街が純粋に人間の手に取り戻されるわけですね。

佐藤　ええ、変わるのはこれから産業構造だけじゃなくて、社会全体なんですね。今、行政改革なども行われていますが、日本人すべてがいろんな面で考え直すべき時期だって、今までみたいな総ムラ半的な福祉、これから絶対にできないでしょうね。

知事　そうですね。量で考えるんでなく、まずその質を問うことです。

佐藤　本当にガラガラと音をたてて変わっていくんですよ。

司会　いえ、そんなつもりはありません。これから日本は本当の意味で低成長経済を味わうことになると思うんです。貿易まさつの問題、住宅問題、低成長、低成長といわれ続けてきたわけですけど……

佐藤　これまでは、第二次石油ショックをアメリカやヨーロッパの対応が悪かったんで、その間げきを縫って何とか日本の経済伸びてきました。これがいつまでも続くわけじゃなくて、いよいよ本格的な低成長の時代があるだろうと思います。

司会　では、好調な自動車産業などうなっていくのですか。

佐藤　幸い本県では、浜松にテクノポリス構想もまとまってきたようだし、東部都市圏は製紙会社が相当自動車産業関連などに転換してきている。中部がやや遅れていますが、これも浜松テクノポリスを中心にした先端技術の波及効果などで新しい産業基盤がでてくるでしょうし、またできてこなければなりません。

知事　これから脱工業化社会といわれますね。工場は街から出ていき、街はまさに住みよさの純粋性を追求できるようになる。つまり、街が純粋に人間の手に取り戻されるわけですね。

佐藤　ええ、変わるのはこれから産業構造だけじゃなくて、社会全体なんですね。今、行政改革なども行われていますが、日本人すべてがいろんな面で考え直すべき時期に直面しているんです。ただ

新技術の開発に挑む

―がんばる中小企業―

エレクトロニクス（電子工学）関係をはじめとする超高度の技術開発が盛んです。そんな先端技術にあまり縁のない中小企業にとっても、技術は自らを活性化させる重要なカギです。長い経験の積み重ねを下地とした小回りのきく技術の開発――それは中小企業の独壇場とも言えましょう。今回はこうした中小企業を中心とした地道な技術への取り組みを紹介しましょう。

東部版

故紙パルプ脱水洗浄を省エネ化

「紙づくりは二千年以上の歴史がありますが、意外に技術革新が遅れているんです。ですから、まだアイデアで勝負できる余地が残されています」――こう語るのは、富士市の製紙関連機械会社A社の社長さん。この会社は、社員わずか二十二人の小規模企業。しかし、以前の三分の一の水量しかいらない省エネルギー型の故紙パルプ脱水洗浄機の製品化に成功、知事から「優秀発明考案賞」を受けた業界注目の企業です。

紙をつくる過程で、パルプは何度も水洗いされ、紙を一トン作るのに水は二百トン必要と言われます。同社はこの工程を〝洗たくの洗いとすすぎ〟に同じ〟と考え、「水を減らすには、すすぎの回数を減らせばよい。それには一回の脱水で水を十分に絞りとってしまえばいいのでは…」という発想から研究に着手。その苦心が実って、アイデアの製品化に成功したのです。

同社の開発した機械は、二つの特殊シリンダーの間にパルプを通し、水を絞るもので脱水能力は従来の機械の約三倍。これにより、平均六回だったパルプの水洗いは、三・五回に短縮され、用水も電気代も三分の一に節約されています。この機械はすでに県下の多くの関連企業で使われ始めており、技術に取り組む同社の面目躍如。

この会社は、こんどはこの技術を生パルプからの紙づくりの工程に活用しようと、いま、県製紙工業試験場と共同研究を始めています。県費補助を受けての新技術開発への挑戦ですが、社長さんは「一つの工程をこんな風に改善したいというアイデアはあっても、開発費をひねり出せない企業が多い。今回は県の補助金のおかげで、新たな一歩を踏み出せそうです」と意欲満々です。

初もうでは込み合う時間をさけましょう

冬山登山は、余裕ある計画、十分な装備、登山計画書を忘れずに

製紙カスを建材に活用

製紙カスは、かつてはヘドロ公害を引き起こしたやっかい物。現在、これは焼却され、埋め立てられていますが、その量は月一万トンにもなります。富士市のB社は、その焼却灰を不燃建材の原料に利用できないだろうかと考え、県の製紙工業試験場と共同で技術開発、みごとにその試みを成功させました。

不燃建材のボード（板）は、セメントにタルクや蛇紋岩などを混ぜて造っていますが、これらの混和材は県外からの移入もので、一トン十二円前後もします。B社はこの混和材を、地元にあり余る製紙カスの焼却灰で置き換えようと考えたわけです。

さまざまな試みの結果、従来の不燃建材と遜色ない新不燃建材の試作に成功、量産化への技術的メドもたち、いま木材合板に代わる建材として注目されるまでになりました。

この新建材づくりの最大の魅力は、従来のものより生産費を八%もダウンさせたことです。製品そのものも、これまでのものより軽く、寸法変化も少ないなど性能がアップされました。

同社の社長さんは「いま考えれば、私たちは製紙カスという〝宝の山〟の上にいたんですよ」と感慨深げに話していました。この会社は、こんどは生スラッジの利用に挑戦、すでに県製紙工業試験場などと共に研究に入っており、近く実験プラントをつくる予定とのことです。

「自分の社だけでノウハウを独占する気はありませんよ」と語る社長さん。この種の技術開発は、資源の再利用にもなり、二次公害の発生も防げるとあって、地域からも大きな期待が寄せられています。

この装置で、水も電気代も三分の一に

カツオ節の製造カスから飼料

カツオ節で知られる西伊豆町の田子地区。ここでは明治初期に土佐から伝えられた手火山方式という製造法を守り続け、伝統の手づくりの味を伝えています。しかし、製造過程ででるカスの処理は関係者の悩みのタネ。そこで田子鰹節業協同組合は、県の補助を受け相良町の機械メーカーと共同してカスの乾燥機開発に乗り出し、先ごろ試作機を完成して運転を始めました。

カツオ節の製造過程で出される魚の頭や骨などのカスは大変くさいもの。同組合は以前市販の乾燥機を使っていましたが、においは消えず、カスをプレスして水分を除いてから乾燥する方式のためその絞り汁の処理もできずに使用をストップ。やむを得ず、肥料業者へ安値で引き渡している状態でした。

しかし、カスを有効利用する方法はないだろうか――と考えた同組合は、専門技術を持つ業者の知恵を借りて、ようやく試作の乾燥機をつくりあげたのです。「この乾燥機は、バーナー方式の脱臭機をつけてあるので、においは大変少なくなりました。また脱水の必要もありませんから、絞り汁を捨てて公害をおこす心配はありません」と、組合員にも好評。

カスは乾燥過程で粉砕され、最終的には立派な魚カスに。県農業試験場は、これは栄養価が高く、飼料にも使えると分析しています。うわさを伝え聞いた中小の魚処理加工工場から、すでに問い合わせがあるなど、今後この技術の普及が見込まれています。

みごとな飼料に変身

11議案を可決

県議会十一月定例会

先月十一日まで開かれました県議会十一月定例会では、静岡久能海岸など災害復旧関連の二件を追加した五十六年度一般会計補正予算と、「東伊豆有料道路」等の料金改定や、空席となっていた県教育委員の任命など、十一議案が審議されました。

山本知事はこれに先立ち、とくに最近の県政課題として「国の行財政改革に対し、単なる歳出減らしではなく、八十年代の低経済成長期に耐えられる体制づくりを積極的に進める」と所信を述べるとともに、当面の県政運営にあたっては「新しい課題に積極的にチャレンジし、県民の要望に即応する柔軟な行財政運営が必要である。このため、事務事業の見直しを徹底する一方、石油ショックを乗り切ってきた民間の積極的な減量経営にも学び、適切に対処していく」との決意を表明しました。

これをうけて、十二月二日から代表質問、四日には一般質問が行われ、八人の議員が財政問題、行財政改革、技術先端産業問題、建設行政、福祉行政など、県政の当面している諸問題についての県当局の考えをただしました。

その結果、審議された議案はすべて原案どおり可決、同意されました。

またこの定例会では、県議会として、国の関係機関に対し次の意見書の提出が可決されました。その要旨は次のとおりです。

◇農地の固定資産税に関する意見書

政府は、五十七年度から市街化区域内農地の宅地並み課税を拡大強化する方向で検討を進めているが、課税強化が実現すれば、新鮮な農産物の安定供給や緑地空間のもつ防災機能、都市環境保全等の機能を著しく低下させるおそれがある。

政府は、都市農業の役割を再認識し、営農継続の意志が確かな市街化区域内農地は農地課税とし、一般農地についても課税額を据置かれるよう強く要望する。

◇地域の公共交通機関の確保に関する意見書

運輸政策審議会の答申による「長期展望に基づく総合的な交通政策の基本方向」は、地域公共交通体系の変革を示唆しており、これが実施されれば、県民が求める交通機関の確保が阻害される。

政府は、次のことについて十分配慮されるよう要望する。

○第八十五国会（衆院）での「地方陸上公共交通維持整備に関する決議」の速やかな実現

○地域の公共交通維持に必要な助成制度の確保

○乗車密度五人以下の過疎バス路線に対する補助の存続

◇余暇の活用充実に関する意見書

国民の生活水準の向上、労働時間の短縮等によって、余暇は近年着実に増加している。

政府は、関係各省庁が実施している余暇充実対策を一層推進し、相互の連携を強め、効果的な運用が図られるよう総合計画をたて、その実現に格段の努力をされるよう強く要望する。

◇麻薬・覚せい剤対策の抜本的強化に関する意見書

麻薬・覚せい剤禍は、本人はもちろん、健全な家庭や社会を破壊し、最近では第三者まで巻き込む凶悪な犯罪が相次いで発生する憂慮すべき事態となっている。

しかし、この仕事も跡つぎがないのが悩みのタネ。長い歴史のある忘太杜氏も今残るのはたった九人で、先行きに赤信号が点滅しています。

「わしらの代で終わりだねえ。わしら軍隊で辛い思いしとるからこんな仕事にも耐えられるが、今の若い者にゃあ無理でしょう」と寂しそう。

それに、最近の若者の日本酒離れも寂しい現象の一つで「大昔から、うれしいにつけ悲しいにつけ親しんできた日本酒の良さを、もっと思い出してもらいたいねえ」と語気を強めます。

最後に、おいしい酒づくりのコツをうかがうと「杜氏とはたらき手が心を一つにすること。お互い我をおさえて、力を合わせることに尽きますね」とのこと。酒づくりも人づくりに通じるんだなと、感心しました。

（レポート・ママさん特派員　寺田美津子さん）

県議会　会派別内訳（56.12.1現在）

会派	議席数
自由民主党	50
日本社会党	13
明政会	6
公明党	5
日本共産党	2
無所属	1
欠員	1
計	78

みんなのひろば

ごぞんじですか　このマーク

◎…「中国浙江省展覧会」のシンボルマークです。これは静岡県と浙江省共通の主要作物のミカンとお茶の葉を図案化したもので、交差した円は〝友好の輪〟を表しています。

◎…展覧会は四月二十一日から五月九日まで、静岡市曲金の静岡産業館で開かれます。青磁器や噴水魚洗の展示、曲技団や武術団の実演、紹興酒や段通・家具などの伝統工芸品の即売が行われる予定で、中国文化に接するまたとない機会と、みなさんの期待が高まっています。

◎…前売入場券（大人六百円、中人四百円、小人三百円）はお近くのガソリンスタンド、プレイガイド、農漁協、商工会議所で販売しています。（くわしくは浙江省展共催会☎〇五四二㈤七七七九へどうぞ）

赤ちゃんのガン検診について

問　静岡市　金山正子さん

新聞で「神経芽細胞腫」という赤ちゃんのガンがあるということを知りました。私には四カ月になる女の子がありますが、できれば検診を受けておきたいと考えています。方法などを教えて下さい。

答　神経芽細胞腫は、腹部を中心に発生する子ども特有のガンで、特に一歳以下の赤ちゃんに多く発生します。六千から一万人に一人という発生率で、一歳未満に発見すれば、その七〇%以上が治ります。

県は、このガンの検査を六ヵ月児を対象に、昨年十一月から始めています。その調べ方は、子どもの尿をろ紙にしみ込ませるという簡単なもので、県衛生検査協会がこれを分析して判定します。結果は約二週間でわかります。

検査に必要なろ紙などは、各市町村の母子保健衛生担当係に用意してあります。なお、検査は無料ですが、県衛生検査協会への郵送料は自己負担となります。（保健予防課）

（この欄に採用の方には記念品をお送りします。なお、投稿には住所、氏名、年齢、職業をお書きそえください）

ごはんが人気です　学校給食

「入学してから子どもの態度が見違えるようになりました。このあいだ授業参観で給食時間を見て、その秘密がわかったような気がしました。わがままで好ききらいが多かったのに、教室では何もいわずおいしそうに食べてるんです。したくや後かたづけもみんなと仲良くやってますし……」

これはある小学校一年生のお母さんの声です。

学校給食は、単に栄養のバランスをとることだけが目的ではありません。同じ食事を仲間や先生と一緒にとることで、マナーや人間関係、集団の一員としての生活態度を学ぶことも、大きな目的です。

いまの学校給食はパン・メン米飯とおかず、そして牛乳の三本だてで、これらがそろった給食を完全給食と呼んでいます。このうち、小麦粉と米、牛乳には国庫補助が行われています。

米飯給食は昭和五十一年から導入され、今では県下の完全給食校で一〇〇%実施されています。国もその推進に積極的で、米の価格の六〇%を補助しています。

「米飯給食は米の在庫べらしがねらいではないか」という声がありますが、県学校給食会では「いやそんなことありません。日本人として米飯の正しいマナーを身につけさせるのが大きな目的なんです。使う米も決して古米などでなく、最も新しいもので、標準米より上質なんですよ」と話しています。調理法も白飯だけでなく〝たきこみごはん〟〝麦ごはん〟〝赤飯〟など工夫しているので、子どもたちの人気も上々のこと。

そのほかの材料については、添加物の少ない良質なものを県内のどの学校でも食べられるようにと、学校給食会が中心となって、配合割合を定めたり、食品の選定を行っています。また市町村では父兄や給食運営委員などを対象に、研修会や試食会を行って、より良い給食づくりをめざしています。

給食は次代をになう子どもたちにとって、大切な教育活動の一つです。お宅でも、お子さんの給食についてお考えください。

コンパニオン募集！

◎…この展覧会のPRや案内をしていただくコンパニオンを募集します。▼18～25歳の女性▼採用期間3/20～5/6▼日給六千円▼応募受付1/6～1/20、履歴書と写真（9×6）を添えて▼選考日1/30▼その他くわしくは浙江省展共催会事務局（☎〇五四二㈤七七七九）へどうぞ

がんばってます ㉒

二十六年のベテラン

地酒づくりの裏方さん

大井川町の横山保作さん

に住みこんで酒づくりにうちこみます。「酒は生きもん。目に見えん酵母菌やこうじが相手だからちょっとの油断で一升ビンで二、三千本もの酒が失敗作になることもあるんでねえ。ちっとも目が離せんよ」。朝五時半から床につく夜九時すぎまで、神経を張りつめだそうです。

「何たって温度管理に一番神経を使うです」といいながら、二十五俵分の米が入っている酒だるに温度計を差しこむ表情は、まるで赤ちゃんをいつくしむように優しく真剣です。

こうしてできあがった絞りたての酒の味はまた格別。この間、日本酒造協会から表彰され「苦労が報われましたよ」と顔をほころばせます。

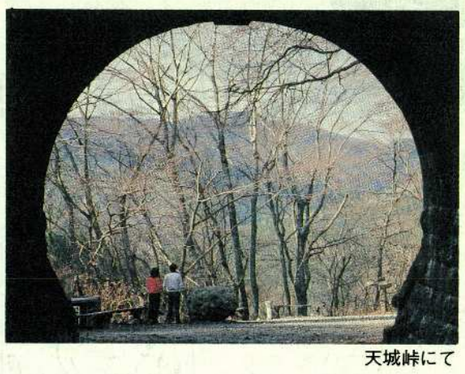
年末年始はお酒の季節。今回は静岡市内のつくり酒屋を訪ねてみました。

横山保作さん(65)は杜氏職二十六年というベテラン。大井川町藤守に住む、伝統ある忘太杜氏の一人です。

十二月から三月まで、一年で最も寒い時期を、この酒屋

ふるさとの街道 ―10―

天城街道



天城峠にて

松陰も越えた道

冬の木もれ日が道沿いのクマザサを白く照らし、遠くの新道から自動車の通る音がかすかに聞こえてきます。舗装されていない昔ながらの道を、県外ナンバーの乗用車が土ぼこりをあげて通りすぎると、あたりはまたもとの静けさに戻ります。

道を登りつめると、旧天城トンネルの入口が寒そうに目に入ります。若いハイキング客や県外から車で訪れた人たちが、天城の自然を深く味わうのもこのあたりです。

峠という言葉には不思議な魅力があります。難所といわれたこの天城峠を、昔の人々はどのような思いを抱いて越えていったのでしょうか。安政元年（一八五四年）に、二十五歳の吉田松陰が、はるかアメリカ渡航を目指して越えていったのも、この峠でした。希望に燃え、はやる心を、周囲の新鮮な空気はやさしく包んだことでしょう。

数々の伝説に彩られ、小説の舞台ともなっているこの街道も、いまは昭和の森（天城湯ヶ島町）ループ橋（河津町）などができ、新たな観光ルートとして脚光を浴びています。

政府は、麻薬・覚せい剤撲滅体制の一層の強化と現行法制度を見直し、格段の措置を講ぜられるよう強く要望する。

◇地震対策緊急整備事業に関する意見書

東海地震発災の際、避難場所となる小・中・高校の校舎の耐震改築は焦眉の課題である。しかるに小・中校の老朽非木造校舎の解体、撤去および高校の耐震工事は、地震財特法の適用外である。

政府は、これら耐震改築工事を地震財特法指定事業の対象とするよう、格段の配意を強く要望する。（県議会事務局）

今月のテーマ　夢は未来に　中小企業に活力を

県の番組　お茶の間で県政を

番組名	放送局・時間	2日～5日	9日(土)	16日(土)	23日(土)	30日(土)
あなたのチャンネル	SBSテレビ 17：00～17：15	※子供の夢は果てしなく ～歌手、天文学者……～	育て！ふるさと産業 ～地域の特産品づくり～	観光地紹介	遠州織物産地では今 ～消費者ニーズに応えて～	21世紀へ向けての県民意識 ～県政世論調査～
こんにちは静岡	けんみんテレビ 10：45～11：00	※地域の発展はおれたちで ～志太4Hクラブ～	ホームペーパーで活路を ～新製品開発に取り組む家庭紙業界～	マイコン利用で中小企業振興を	文化財防火デー ～久能山東照宮の防火体制～	ふるさと紀行
あなたとひととき	第一テレビ 11：15～11：30	※青少年の未来にかける ～次代の担い手を健全に育成するには～	明日の商店街づくり ～商店街振興に必要なもの～	広域市町村圏 ～総合的な地域づくり～	技術新時代 ～県内企業が生き残る道～	自然と親しむ

番組名	放送局・時間	2日(土)	10日(日)	17日(日)	24日(日)	31日(日)
ごぞんじですか	テレビ静岡 11：40～11：55	※新しい婦人をめざして（前編） ～主婦が語る未来の婦人像～	新しい婦人をめざして（後編） ～主婦が語る未来の婦人像～	中小企業情報センター ～情報化時代に果す役割～	伝統産業に生きる ～静岡漆器～	愛の光を！ ～静岡県アイバンク～

※1月1週は正月特別編成のため、次のように放送日時が変わります。
SBSテレビ＝3日9：15～9：30　第一テレビ＝2日17：40～17：55
けんみんテレビ＝5日17：35～17：50　テレビ静岡＝2日6：45～7：00

◎こんにちは県庁です　SBSラジオ　9：30～9：40（月～金）
◎県政だより　有線放送　朝・昼・晩　（月～土）

県からお知らせ

今月の出張相談 ―無料・秘密厳守―

巡回交通事故相談
八日　韮山町役場
十三日　伊東市役所
相談時間は二会場とも午前十時から午後二時まで

酒害相談
沼津保健所三島出張所
相談時間は午後一時から四時まで

危険物取扱者保安講習

危険物取扱者は五年ごとに、県の保安講習を受講することになっています。

日時・会場
二月十六日　富士市農協会館
二月十七日　沼津労政会館
二月二十二日　沼津労政会館
三会場とも午前九時半から午後四時まで

受講料　千六百円（県証紙）
受付期間　一月七日から二十日
申込先　各市町村危険物安全協会（消防本部内）
申込書もこちらで
問合せ　申込先、または県危険物安全協会連合会☎〇五四二㈤五五一二

中部版

初もうでは
込み合う時間をさけましょう

冬山登山は、余裕ある計画、十分な装備、登山計画書を忘れずに

新技術の開発に挑む

―がんばる中小企業―

カツオの頭から新調味料

県内のカツオ加工工場から出るカツオの頭などのカスは年間二万トン。現在、これは飼料や肥料として利用されていますが、水産加工業界では、より付加価値の高い利用方法はないものかと知恵をしぼっています。そんな中で、大井川町の静岡県産醤油協業組合（昭和四十五年に県内中小醤油生産業者十七社で設立）は、このカツオの頭を原料に、新調味料の開発に成功しました。

カツオの頭の有効活用の研究は、県工業試験場が当初手がけたもので、昭和五十二年度の県職員の職場提案がそのスタートとなりました。課題を与えられた同試験場の食品工業研究室では、まずカツオの頭のペースト化（ノリ状）に取り組んで難なく成功。さらにこれを利用して練り角煮やはんぺんを試作、味もよく売れそうなものをつくりあげました。

この研究を踏まえて、新しい調味料の研究開発に乗り出したのがこの協業組合でした。戦前には、全国でも五指に入る有力な醤油生産県であった本県は、今では県内需要量の三分の一しか生産してない完全を移入県になっています。しかし、現在でも生産技術は一流。その技術を生かそうと試みたわけです。

昨年八月末、同組合は工場内に試験プラントを設置、カツオの頭のペーストを、従来の醤油の原料である大麦、小麦に混ぜて、約四トンの諸味（原料をこうじで発酵させたもの）を仕込み、約三カ月の発酵期間を経て搾るまでにこぎつけました。

搾られた原液は、魚臭も少なく、カツオの味が混っていてなかなかいける味でした。同協組では、さらに一～二年かけて商品化のための研究を重ねる計画です。現在は、「めんつゆ」とか「ふりかけ」などの調味料の開発を目指しています。そして、市場化にめどがつけば、新たに専門工場の設立にまでもっていきたいと夢を広げています。

同組合では「大手は、生命工学などの新技術を使って、さまざまな製造方法を研究しているようです。しかし、知恵を出しあって地域の特色を生かした技術や製品を開発していけば、大手にも十分太刀打ちできますよ」と自信満々です。

原液をしぼる

新型内装建材を開発

変化の八〇年代。県下の産業界もこの変化に対応しようといま新しい技術や製品の開発に積極的に取り組んでいます。中小企業は今後生き残るカギは〝技術〟だとして懸命ですし、県もこれを資金面や技術面で支援しているほか、県工業試験場でも独自に新しい技術や製品の開発を進めています。今回は、これらの研究成果のいくつかを紹介します。

新建材がつぎつぎと

合板を特殊な技術で加工して、建具屋さんの手間が大幅に省ける内装建材を開発したのは、静岡市のF木工です。県の資金助成や県工業試験場との共同研究で、省力の夢が半ば実ったわけですが、成功に至ったのはやはり技術開発への真剣な取り組み姿勢だったと言えましょう。

いま建築材はマンションや新工法による個人住宅の普及で家のつくりを強化する「構造材」と、内部を飾る「内装材」との使用区分がはっきりわかれてきています。そんな中で、同社は強度はあまりなくても、装飾性の高い低コストの内装材が開発できないだろうか――と考え、この研究に着手しました。

その結果、合板にV字型の筋を入れて内側に折り曲げ、そこを接着剤で固定する角型パイプづくりを考え出しました。加工前に外側に化粧ビニールを張ったり、ヒノキやスギの薄板を張れば立派な内装材ができあがり。軽いうえに、色や模様づけが自由で、装飾性が高く、そのうえ短期日でできあがるのがこの建材の最大の長所ということです。

しかし、まだ接着剤の性能に問題があります。ゴム系接着剤は、早く乾いて作業能率の点ではいいのですが、強度の点が問題。またエマルジョン系接着剤は強度の面はパスするものの、作業能率に難点があります。そこで同社は、接着剤の改良を県工業試験場と共同で進めています。

中小企業ではアイデアはいっぱい持っているものの、それを商品化するまでに注ぎ込む資金の余裕はなかなかなく、また成功の割合の低さ、危険率の高さから金融機関も融資に尻ごみする場合が多いのが現状です。同木工所では「その点、県の助成制度や試験場との共同研究は私たちに新製品を生み出す意欲を与えてくれます」と語っています。

11議案を可決

県議会十一月定例会

先月十一日まで開かれました県議会十一月定例会では、静岡久能海岸など災害復旧関連の二件を追加した五十六年度一般会計補正予算と、「東伊豆有料道路」等の料金改定や、空席となっていた県教育委員の任命など、十一議案が審議されました。

山本知事はこれに先立ち、とくに最近の県政課題として「国の行財政改革に対し、単なる歳出減らしではなく、八十年代の低経済成長期に耐えられる体制づくりを積極的に進める」と所信を述べるとともに、当面の県政運営にあたっては「新しい課題に積極的にチャレンジし、県民の要望に即応する柔軟な行財政運営が必要である。このため、事務事業の見直しを徹底する一方、石油ショックを乗り切ってきた民間の積極的な減量経営にも学び、適切に対処していく」との決意を表明しました。

これをうけて、十二月二日から代表質問、四日には一般質問が行われ、八人の議員が財政問題、行財政改革、技術先端産業問題、建設行政、福祉行政など、県政の当面している諸問題についての県当局の考えをただしました。

その結果、審議された議案はすべて原案どおり可決、同意されました。

またこの定例会では、県議会として、国の関係機関に対し次の意見書の提出が可決されました。その要旨は次のとおりです。

◇農地の固定資産税に関する意見書

政府は、五十七年度から市街化区域内農地の宅地並み課税を拡大強化する方向で検討を進めているが、課税強化が実現すれば、新鮮な農産物の安定供給や緑地空間のもつ防災機能、都市環境保全等の機能を著しく低下させるおそれがある。

政府は、都市農業の役割を再認識し、営農継続の意志が確かな市街化区域内農地は農地課税とし、一般農地についても課税額を据置かれるよう強く要望する。

◇地域の公共交通機関の確保に関する意見書

運輸政策審議会の答申による「長期展望に基づく総合的な交通政策の基本方向」は、地域公共交通体系の変革を示唆しており、これが実施されれば、県民が求める交通機関の確保が阻害される。

政府は、次のことについて十分配慮されるよう要望する。

○第八十五国会（衆院）での「地方陸上公共交通維持整備に関する決議」の速やかな実現

○地域の公共交通維持に必要な助成制度の確保

○乗車密度五人以下の過疎バス路線に対する補助の存続

◇余暇の活用充実に関する意見書

国民の生活水準の向上、労働時間の短縮等によって、余暇は近年着実に増加している。

政府は、関係各省庁が実施している余暇充実対策を一層推進し、相互の連携を強め、効果的な運用が図られるよう総合計画をたて、その実現に格段の努力をされるよう強く要望する。

◇麻薬・覚せい剤対策の抜本的強化に関する意見書

麻薬・覚せい剤禍は、本人はもちろん、健全な家庭や社会を破壊し、最近では第三者まで巻き込む凶悪な犯罪が相次いで発生する憂慮すべき事態となっている。

政府は、麻薬・覚せい剤撲滅体制の一層の強化と現行法制度を見直し、格段の措置を講ぜられるよう強く要望する。

◇地震対策緊急整備事業に関する意見書

東海地震発災の際、避難場所となる小・中・高校の校舎の耐震改築は焦眉の課題である。しかるに小・中校の老朽非木造校舎の解体、撤去および高校の耐震工事は、地震財特法の適用外である。

政府は、これら耐震改築工事を地震財特法指定事業の対象とするよう、格段の配意を強く要望する。

（県議会事務局）

県議会　会派別内訳（56.12.1現在）

会派	議席数
自由民主党	50
日本社会党	13
明政会	6
公明党	5
日本共産党	2
無所属	1
欠員	1
計	78

天城街道

ふるさとの街道 ―10―

天城峠にて

松陰も越えた道

冬の木もれ日が道沿いのクマザサを白く照らし、遠くの新道から自動車の通る音がかすかに聞こえてきます。舗装されていない昔ながらの道を、県外ナンバーの乗用車が土ぼこりをあげて通りすぎると、あたりはまたもとの静けさに戻ります。

道を登りつめると、旧天城トンネルの入口が寒そうに目に入ります。若いハイキング客や県外から車で訪れた人たちが、天城の自然を深く味わうのもこのあたりです。

峠という言葉には不思議な魅力があります。難所といわれたこの天城峠を、昔の人々はどのような思いを抱いて越えていったのでしょうか。安政元年（一八五四年）に、二十五歳の吉田松陰が、はるかアメリカ渡航を目指して越えていったのも、この峠でした。希望に燃え、はやる心を、周囲の新鮮な空気はやさしく包んだことでしょう。

数々の伝説に彩られ、小説の舞台ともなっているこの街道も、いまは昭和の森（天城湯ヶ島町）ループ橋（河津町）などができ、新たな観光ルートとして脚光を浴びています。

みんなのひろば

ごぞんじですか　このマーク

◎…「中国浙江省展覧会」のシンボルマークです。これは静岡県と浙江省共通の主要作物のミカンとお茶の葉を図案化したもので、交差した円は〝友好の輪〟を表しています。

◎…展覧会は四月二十一日から五月九日まで、静岡市曲金の静岡産業館で開かれます。青磁器や噴水魚洗の展示、曲技団や武術団の実演、紹興酒や段通・家具などの伝統工芸品の即売が行われる予定で、中国文化に接するまたとない機会と、みなさんの期待が高まっています。

◎…前売入場券（大人六百円、中人四百円、小人三百円）はお近くのガソリンスタンド、プレイガイド、農漁協、商工会議所で販売しています。（くわしくは浙江省展共催会☎〇五四二㊷七七七九へどうぞ）

赤ちゃんのガン検診について

静岡市　金山正子さん

問　新聞で「神経芽細胞腫」という赤ちゃんのガンがあるということを知りました。私には四カ月になる女の子がありますが、できれば検診を受けておきたいと考えています。方法などを教えて下さい。

答　神経芽細胞腫は、腹部を中心に発生する子ども特有のガンで、特に一歳以下の赤ちゃんに多く発生します。六千から一万人に一人という発生率で、一歳未満に発見すれば、その七〇％以上が治ります。

県は、このガンの検査を六カ月児を対象に、昨年十一月から始めています。その調べ方は、子どもの尿をろ紙にしみ込ませるという簡単なもので、県衛生検査協会がこれを分析して判定します。結果は約一週間でわかります。

検査に必要なろ紙などは、各市町村の母子保健衛生担当係に用意してあります。なお、検査は無料ですが、県衛生検査協会への郵送料は自己負担となります。（保健予防課）

（この欄に採用の方には記念品をお送りします。なお、投稿には住所、氏名、年齢、職業をお書きそえください）

ごはんが人気です　学校給食

「入学してから子どもの態度が見違えるようになりました。このあいだ授業参観で給食時間を見て、その秘密がわかったような気がしました。わがままで好ききらいが多かったのに、教室では何もいわずおいしそうに食べてるんです。したくや後かたづけもみんなと仲良くやってますし……」

これはある小学校一年生のお母さんの声です。

学校給食は、単に栄養のバランスをとることだけが目的ではありません。同じ食事を仲間や先生と一緒にとることで、マナーや人間関係、集団の一員としての生活態度を学ぶことも、大きな目的です。

いまの学校給食はパン・メン米飯とおかず、そして牛乳の三本だてで、これらがそろった給食を完全給食と呼んでいます。このうち、小麦粉と米、牛乳には国庫補助が行われています。

米飯給食は昭和五十一年から導入され、今では県下の完全給食校で一〇〇％実施されています。国もその推進に積極的で、米の価格の六〇％を補助しています。

「米飯給食は米の在庫べらしがねらいではないか」という声がありますが、県学校給食会では「いやそんなことありません。日本人として米飯の正しいマナーを身につけさせるのが大きな目的なんです。使う米も決して古米などでなく、最も新しいもので、標準米より上質なんですよ」と話しています。調理法も白飯だけでなく〝たきこみごはん〟〝麦ごはん〟〝赤飯〟など工夫しているので、子どもたちの人気も上々とのこと。

そのほかの材料については、添加物の少ない良質なものを県内のどの学校でも食べられるようにと、学校給食会が中心となって、配合割合を定めたり、食品の選定を行っています。また市町村では父兄や給食運営委員などを対象に、研修会や試食会を行って、より良い給食づくりをめざしています。

給食は次代をになう子どもたちにとって、大切な教育活動の一つです。お宅でも、お子さんの給食についてお考えください。

コンパニオン募集！

◎…この展覧会のPRや案内をしていただくコンパニオンを募集します。▼18～25歳の女性▼採用期間㊌～㊎▼日給六千円▼応募受付㊌～㊍、履歴書と写真（9×6）を添えて▼選考日㊍▼その他くわしくは浙江省展共催会事務局（☎〇五四二㊷七七七九）へどうぞ

がんばってます ㉒

二十六年のベテラン　地酒づくりの裏方さん

年末年始はお酒の季節。今回は静岡市内のつくり酒屋を訪ねてみました。

横山保作さん(65)は杜氏職二十六年というベテラン。大井川町藤守に住む、伝統ある志太杜氏の一人です。

十二月から三月まで、一年で最も寒い時期を、この酒屋に住みこんで酒づくりにうちこみます。「酒は生きもん。目に見えん酵母菌やこうじが相手だからちょっとの油断で一升ビンで二、三千本もの酒が失敗作になることもあるんでねえ。ちっとも目が離せんよ」。朝五時半から床につく夜九時すぎまで、神経を張りづめだそうです。

「何たって温度管理に一番神経を使うです」といいながら、二十五俵分の米が入っている酒だるに温度計を差しこむ表情は、まるで赤ちゃんをいつくしむように優しく真剣です。

こうしてできあがった絞りたての酒の味はまた格別。この間、日本酒造協会から表彰され「苦労が報われましたよ」と顔をほころばせます。

しかし、この仕事も跡づぎがないのが悩みのタネ。長い歴史のある志太杜氏も今残るのはたった九人で、先行きに赤信号が点滅しています。

「わしらの代で終わりだねえ。わしら軍隊で辛い思いしとるからこんな仕事にも耐えられるが、今の若い者にゃあ無理でしょう」と寂しそう。

それに、最近の若者の日本酒離れも寂しい現象の一つで「大昔から、うれしいにつけ悲しいにつけ親しんできた日本酒の良さを、もっと思い出してもらいたいねえ」と語気を強めます。

最後に、おいしい酒づくりのコツをうかがうと「杜氏とはたらき手が心を一つにすること。お互い我をおさえて、力を合わせることに尽きますね」とのこと。酒づくりも人づくりに通じるんだなと、感心しました。

（レポート・ママさん特派員　寺田美津子さん）

大井川町の横山保作さん

県からお知らせ

今月の出張相談
―無料・秘密厳守―

巡回交通事故相談
六日　金谷町中央公民館
十八日　菊川町菊川勤労青少年ホーム
二十日　島田市役所
二十二日　蒲原町文化センター
相談時間は四会場とも午前十時から午後三時まで

酒害相談
清水保健所
相談時間は午後一時から四時まで

危険物取扱者保安講習

危険物取扱者は五年ごとに、県の保安講習を受講することになっています。

日時・会場
二月十五日　藤枝市文化センター
二月十九日　県庁西館第一会議室
二月二十四日　清水市民文化会館
三会場とも午前九時半から午後四時まで

受講料　千六百円（県証紙）
受付期間　一月七日から二十日
申込先　各市町村危険物安全協会（消防本部内）
申込書もこちらで
問合せ　申込先、または県危険物安全協会連合会☎〇五四二㊷五五一一

県の番組

お茶の間で県政を

今月のテーマ　夢は未来に　中小企業に活力を

番組名	放送局・時間	2日～5日	9日㈯	16日㈯	23日㈯	30日㈯
あなたのチャンネル	SBSテレビ 17：00～17：15	※子供の夢は果てしなく ～歌手、天文学者……～	育て！ふるさと産業 ～地域の特産品づくり～	観光地紹介	遠州織物産地では今 ～消費者ニーズに応えて～	21世紀へ向けての県民意識 ～県政世論調査～
こんにちは静岡	けんみんテレビ 10：45～11：00	※地域の発展はおれたちで ～志太4Hクラブ～	ホームペーパーで活路を ～新製品開発に取り組む～ 家庭紙業界	マイコン利用で 中小企業振興を	文化財防火デー ～久能山東照宮の防火体制～	ふるさと紀行
あなたとひととき	第一テレビ 11：15～11：30	※青少年の未来にかける ～次代の担い手を健全に育成するには～	明日の商店街づくり ～商店街振興に必要なもの～	広域市町村圏 ～総合的な地域づくり～	技術新時代 ～県内企業が生き残る道～	自然と親しむ

番組名	放送局・時間	2日㈯	10日㈰	17日㈰	24日㈰	31日㈰
ごぞんじですか	テレビ静岡 11：40～11：55	※新しい婦人をめざして（前編） ～主婦が語る未来の婦人像～	新しい婦人をめざして（後編） ～主婦が語る未来の婦人像～	中小企業情報センター ～情報化時代に果す役割～	伝統産業に生きる ～静岡漆器～	愛の光を！ ～静岡県アイバンク～

※1月1週は正月特別編成のため、次のように放送日時が変わります。
SBSテレビ＝3日9：15～9：30　第一テレビ＝2日17：40～17：55
けんみんテレビ＝5日17：35～17：50　テレビ静岡＝2日6：45～7：00

◎こんにちは県庁です　SBSラジオ　9：30～9：40（月～金）
◎県政だより　有線放送　朝・昼・晩　（月～土）

西部版

初もうでは込み合う時間をさけましょう

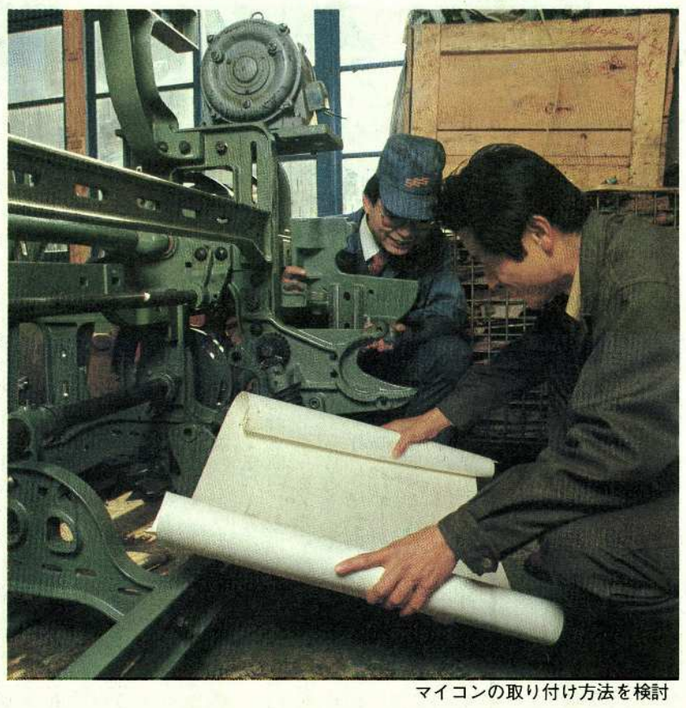
冬山登山は、余裕ある計画、十分な装備、登山計画書を忘れずに

なるかもしれません。三年ぐらい前から考えていたんですけどどう具体化したらいいか分からなくて困っていたんです。試験場に相談して本当によかったですよ」と笑顔で話してくれました。

新技術の開発に挑む

―がんばる中小企業―

中小企業が生き延び、飛躍する上で新技術の開発は大きなカギです。長い経験から生み出された小回りのきく新技術――これこそ中小企業ならではの強力な武器でしょう。県はそうした技術開発のために、補助金や助成金を出してバックアップしています。今回はその補助金の指定を受け県の試験研究機関と共同研究をしている中小企業の例をご紹介します。


マイコンの取り付け方法を検討

マイコンで高級織物を

西部地方の地場産業を代表する織布業界は、長い低迷状態が続いています。これを打開するには、韓国製品などにマネのできない、付加価値の高い高級品をつくることです。

そこでマイクロコンピュータを織機に組み込んだら、と考えたのが浜松市入野町のS社です。とはいえコンピュータにはまったくの門外漢。そこで近くの県繊維工業試験場に相談を持ちこみ、昨年四月、補助金を受けて、試験場と共同研究を始めました。

機械本体はS社が考え、マイコン関係はすべて試験場の「電子応用研究室」が受け持ちました。だれにも扱えること、なるべく多くの情報をプログラムすることを課題に研究が進められ今月末にはいよいよ試作機第一号の完成にまでこぎつけます。

この機械の最大の武器は何といっても今までの織機に簡単に取り付けられること。これをつければたて糸の送り出し量を自動的にコントロールして、複雑な〝からみ織〟や〝パイル織〟が簡単にできます。新しい織機だと数百万円～一千万円ぐらいしますが、これだとはるかに安くて済みそうです。

S社の常務、澤根祐治さん(39)は「業界にとって一つの革命になるかもしれません。三年ぐらい前から考えていたんですけどどう具体化したらいいか分からなくて困っていたんです。試験場に相談して本当によかったですよ」と笑顔で話してくれました。

しそ巻の風味を保つ機械

浜松がしそ巻の発祥の地であることをごぞんじですか。今では西部地域の十社で年商十五億円、全国の九〇%以上のシェアを誇っています。

しかし、しそ巻は二、三週間で油が酸化して風味が失われるため、どうしてもローカル食品の域を脱しきれませんでした。そこで風味を長もちさせる工夫はないものかと、しそ巻組合から相談を受けた県工業試験場が、しそ巻メーカーのR社と共同で新しい製造機の開発に取り組んだのです。

旧来の工程では①油を霧状にして吹きつける②下からの火で焼く(油が落ちて煙に包まれる)――の二点が、酸化が進み風味の落ちる原因でした。そこでこの欠点を克服し、二つの工程を一度ですませてしまう新しい機械を設計しています。この三月末までには第一号機がお目見えしそうで、風味の点だけでなく、作業能率も二、三倍に飛躍することになります。

しそ巻組合の鈴木組合長(70)は「これまでみんなで知恵をしぼったんですがね。しそ巻は火を通すと柔らかくなってしまうんでどうしても自動的にひっくり返すのが難しかったんです。いや―助かりました。これで日本中に売りまくりますよ」と感謝とともに大はりきりです。

各社各様に知恵しぼる

厳しい経済状勢の中を生き抜くために、各企業はさまざまに知恵をしぼっています。

その一つが〝QC活動〟。作業工程や職場環境を従業員のアイデアで改善し、身近なところからムダを省いていこうという運動です。中には年間十万件ものアイデアが寄せられるという磐田市のY社など今県内企業のQC活動は盛り上っています。

先ごろ行われた県下の事例研究発表大会では、さまざまな成功例が報告されました。たとえばある自動車部品工場では、図面の取り出し時間のロスをなくそうと、古い図面を整理し、図面にすべて通し番号をふりました。これだけで取り出しに要する時間が平均で半分に縮まったそうです。そのほか、発表されたのはいずれも、ほんのちょっとしたアイデアが大きな成功につながった例ばかりでした。

QC活動のほかにも、異業種間で交流することで、同業者同士では思いもよらなかったアイデアを拾い合い、また、異業種協力の場を見付けようという運動、あるいは消費者・金融機関などに企業の問題点を指摘してもらおうという試みも積極的に行われています。

県はこうした中小企業の努力をバックアップするため、技術面ではご紹介したような共同研究や技術アドバイザーの派遣、省エネ企業診断を行い、資金面では各種の制度資金を設けています。

おいしいしそ巻は心をこめた婦人たちの手で

11議案を可決

県議会十一月定例会

先月十一日まで開かれました県議会十一月定例会では、静岡久能海岸など災害復旧関連の二件を追加した五十六年度一般会計補正予算と、「東伊豆有料道路」等の料金改定や、空席となっていた県教育委員の任命など、十一議案が審議されました。

山本知事はこれに先立ち、とくに最近の県政課題として「国の行財政改革に対し、単なる歳出減らしではなく、八十年代の低経済成長期に耐えられる体制づくりを積極的に進める」と所信を述べるとともに、当面の県政運営にあたっては「新しい課題に積極的にチャレンジし、県民の要望に即応する柔軟な行財政運営が必要である。このため、事務事業の見直しを徹底する一方、石油ショックを乗り切ってきた民間の積極的な減量経営にも学び、適切に対処していく」との決意を表明しました。

これをうけて、十二月二日から代表質問、四日には一般質問が行われ、八人の議員が財政問題、行財政改革、技術先端産業問題、建設行政、福祉行政など、県政の当面している諸問題についての県当局の考えをただしました。

その結果、審議された議案はすべて原案どおり可決、同意されました。

またこの定例会では、県議会として、国の関係機関に対し次の意見書の提出が可決されました。その要旨は次のとおりです。

◇農地の固定資産税に関する意見書

政府は、五十七年度から市街化区域内農地の宅地並み課税を拡大強化する方向で検討を進めているが、課税強化が実現すれば、新鮮な農産物の安定供給や緑地空間のもつ防災機能、都市環境保全等の機能を著しく低下させるおそれがある。

政府は、都市農業の役割を再認識し、営農継続の意志が確かな市街化区域内農地は農地課税とし、一般農地についても課税額を据置かれるよう強く要望する。

◇地域の公共交通機関の確保に関する意見書

運輸政策審議会の答申による「長期展望に基づく総合的な交通政策の基本方向」は、地域公共交通体系の変革を示唆しており、これが実施されれば、県民が求める交通機関の確保が阻害される。

政府は、次のことについて十分配慮されるよう要望する。

○第八十五国会（衆院）での「地方陸上公共交通維持整備に関する決議」の速やかな実現

○地域の公共交通維持に必要な助成制度の確保

○乗車密度五人以下の過疎バス路線に対する補助の存続

◇余暇の活用充実に関する意見書

国民の生活水準の向上、労働時間の短縮等によって、余暇は近年着実に増加している。

政府は、関係各省庁が実施している余暇充実対策を一層推進し、相互の連携を強め、効果的な運用が図られるよう総合計画をたて、その実現に格段の努力をされるよう強く要望する。

◇麻薬・覚せい剤対策の抜本的強化に関する意見書

麻薬・覚せい剤禍は、本人はもちろん、健全な家庭や社会を破壊し、最近では第三者まで巻き込む凶悪な犯罪が相次いで発生する憂慮すべき事態となっている。

しかし、この仕事も跡つぎがないのが悩みのタネ。長い歴史のある志太杜氏も今残るのはたった九人で、先行きに赤信号が点滅しています。

「わしらの代で終わりだねえ。わしら軍隊で辛い思いしとるからこんな仕事にも耐えられるが、今の若い者にゃあ無理でしょう」と寂しそう。

それに、最近の若者の日本酒離れも寂しい現象の一つで「大昔から、うれしいにつけ悲しいにつけ親しんできた日本酒の良さを、もっと思い出してもらいたいねえ」と語気を強めます。

最後に、おいしい酒づくりのコツをうかがうと「杜氏とはたらき手が心を一つにすること。お互い我がをおさえて、力を合わせることに尽きますね」とのこと。酒づくりも人づくりに通じるんだなと、感心しました。

（レポート・ママさん特派員　寺田美津子さん）

県議会　会派別内訳（56.12.1現在）

会派	議席数
自由民主党	50
日本社会党	13
明政会	6
公明党	5
日本共産党	2
無所属	1
欠員	1
計	78

みんなのひろば

赤ちゃんのガン検診について

静岡市　金山正子さん

問　新聞で「神経芽細胞腫」という赤ちゃんのガンがあるということを知りました。私には四カ月になる女の子がありますが、できれば検診を受けておきたいと考えています。方法などを教えて下さい。

答　神経芽細胞腫は、腹部を中心に発生する子ども特有のガンで、特に一歳以下の赤ちゃんに多く発生します。六千から一万人に一人という発生率で、一歳未満に発見すれば、その七〇%以上が治ります。

県は、このガンの検査を六ヵ月児を対象に、昨年十一月から始めています。その調べ方は、子どもの尿をろ紙にしみ込ませるという簡単なもので、県衛生検査協会がこれを分析して判定します。結果は約二週間でわかります。

検査に必要なろ紙などは、各市町村の母子保健衛生担当係に用意してあります。なお、検査は無料ですが、県衛生検査協会への郵送料は自己負担となります。

（保健予防課）

（この欄に採用の方には記念品をお送りします。なお、投稿には住所、氏名、年齢、職業をお書きそえください）

ごぞんじですか　このマーク

◎…「中国浙江省展覧会」のシンボルマークです。これは静岡県と浙江省共通の主要作物のミカンとお茶の葉を図案化したもので、交差した円は〝友好の輪〟を表しています。

◎…展覧会は四月二十一日から五月九日まで、静岡市曲金の静岡産業館で開かれます。青磁器や噴水魚洗の展示、曲技団や武術団の実演、紹興酒や段通・家具などの伝統工芸品の即売が行われる予定で、中国文化に接するまたとない機会と、みなさんの期待が高まっています。

◎…前売入場券（大人六百円、中人四百円、小人三百円）はお近くのガソリンスタンド、プレイガイド、農漁協、商工会議所で販売しています。（くわしくは浙江省展共催会☎〇五四二(52)七七七九へどうぞ）

コンパニオン募集！

◎…この展覧会のPRや案内をしていただくコンパニオンを募集します。▼18～25歳の女性▼採用期間3/20～5/9▼日給六千円▼応募受付1/6～1/20▼履歴書と写真（9×6）を添えて▼選考日1/31▼その他くわしくは浙江省展共催会事務局（☎〇五四二(52)七七七九）へどうぞ

ごはんが人気です　学校給食

「入学してから子どもの態度が見違えるようになりました。このあいだ授業参観で給食時間を見て、その秘密がわかったような気がしました。わがままで好ききらいが多かったのに、教室では何もいわずおいしそうに食べてるんです。したくや後かたづけもみんなと仲良くやってますし……」

これはある小学校一年生のお母さんの声です。

学校給食は、単に栄養のバランスをとることだけが目的ではありません。同じ食事を仲間や先生と一緒にとることで、マナーや人間関係、集団の一員としての生活態度を学ぶことも、大きな目的です。

いまの学校給食はパン・メン米飯とおかず、そして牛乳の三本だてで、これらがそろった給食を完全給食と呼んでいます。このうち、小麦粉と米、牛乳には国庫補助が行われています。

米飯給食は昭和五十一年から導入され、今では県下の完全給食校で一〇〇%実施されています。国もその推進に積極的で、米の価格の六〇%を補助しています。

「米飯給食は米の在庫べらしがねらいではないか」という声がありますが、県学校給食会では「いやそんなことありません。日本人として米飯の正しいマナーを身につけさせるのが大きな目的なんです。使う米も決して古米などでなく、最も新しいもので、標準米より上質なんですよ」と話しています。調理法も白飯だけでなく〝たきこみごはん〟〝麦ごはん〟〝赤飯〟などの工夫しているので、子どもたちの人気も上々とのこと。

そのほかの材料については、添加物の少ない良質なものを県内のどの学校でも食べられるようにと、学校給食会が中心となって、配合割合を定めたり、食品の選定を行っています。また市町村では父兄や給食運営委員などを対象に、研修会や試食会を行って、より良い給食づくりをめざしています。

給食は次代をになう子どもたちにとって、大切な教育活動の一つです。お宅でも、お子さんの給食についてお考えください。

がんばってます ㉒

二十六年のベテラン

年末年始はお酒の季節。今回は静岡市内のつくり酒屋を訪ねてみました。

横山保作さん(65)は杜氏職二十六年というベテラン。大井川町藤守に住む、伝統ある志太杜氏の一人です。

十二月から三月まで、一年で最も寒い時期を、この酒屋に住みこんで酒づくりにうちこみます。「酒は生きもん。目に見えん酵母菌やこうじが相手だからちょっとの油断で一升ビンで二、三千本もの酒が失敗作になることもあるんでねえ。ちっとも目が離せんよ」。朝五時半から床につく夜九時すぎまで、神経を張りづめだそうです。

「何たって温度管理に一番神経を使うです」といいながら、二十五俵分の米が入っている酒だるに温度計を差しこむ表情は、まるで赤ちゃんをいつくしむように優しく真剣です。

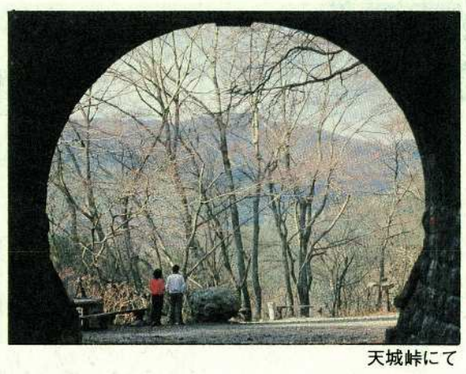
こうしてできあがった絞りたての酒の味はまた格別。この間、日本酒造協会から表彰され「苦労が報われましたよ」と顔をほころばせます。

大井川町の横山保作さん

地酒づくりの裏方さん

ふるさとの街道 ―10―　天城街道

松陰も越えた道


天城峠にて

冬の木もれ日が道沿いのクマザサを白く照らし、遠くの新道から自動車の通る音がかすかに聞こえてきます。舗装されていない昔ながらの道を、県外ナンバーの乗用車が土ぼこりをあげて通りすぎると、あたりはまたもとの静けさに戻ります。

道を登りつめると、旧天城トンネルの入口が寒そうに目に入ります。若いハイキング客や県外から車で訪れた人たちが、天城の自然を深く味わうのもこのあたりです。

峠という言葉には不思議な魅力があります。難所といわれたこの天城峠を、昔の人々はどのような思いを抱いて越えていったのでしょうか。安政元年（一八五四年）に、二十五歳の吉田松陰が、はるかアメリカ渡航を目指して越えていったのも、この峠でした。希望に燃え、はやる心を、周囲の新鮮な空気はやさしく包んだことでしょう。

数々の伝説に彩られ、小説の舞台ともなっているこの街道も、いまは昭和の森［天城湯ヶ島町］ループ橋［河津町］などができ、新たな観光ルートとして脚光を浴びています。

政府は、麻薬・覚せい剤撲滅体制の一層の強化と現行法制度を見直し、格段の措置を講ぜられるよう強く要望する。

◇地震対策緊急整備事業に関する意見書

東海地震発災の際、避難場所となる小・中・高校の校舎の耐震改築は焦眉の課題である。しかるに小・中校の老朽非木造校舎の解体、撤去および高校の耐震工事は、地震財特法の適用外である。

政府は、これら耐震改築工事を地震財特法指定事業の対象とするよう、格段の配意を強く要望する。

（県議会事務局）

県からお知らせ

今月の出張相談 ―無料・秘密厳守―

巡回交通事故相談

二十五日　湖西市役所

二十七日　細江町民福祉センター

相談時間は二会場とも午前十時から午後三時まで

危険物取扱者保安講習

危険物取扱者は五年ごとに、県の保安講習を受講することになっています。

日時・会場　二月十八日　浜松労政会館

二月二十三日　浜松労政会館

いずれも午前九時半から午後四時まで

受講料　千六百円（県証紙）

受付期間　一月七日から二十日

申込先　各市町村危険物安全協会（消防本部内）

申込書もこちらで

問合せ　申込先、または県危険物安全協会連合会☎〇五四二(52)五五一一

お茶の間で県政を　県の番組

今月のテーマ　夢は未来に　中小企業に活力を

番組名	放送局・時間	2日～5日	9日(土)	16日(土)	23日(土)	30日(土)
あなたのチャンネル	SBSテレビ 17：00～17：15	※子供の夢は果てしなく ～歌手、天文学者……～	育て！ふるさと産業 ～地域の特産品づくり～	観光地紹介	遠州織物産地では今 ～消費者ニーズに応えて～	21世紀へ向けての県民意識 ～県政世論調査～
こんにちは静岡	けんみんテレビ 10：45～11：00	※地域の発展はおれたちで ～志太4Hクラブ～	ホームペーパーで活路を ～新製品開発に取り組む家庭紙業界～	マイコン利用で中小企業振興を	文化財防火デー ～久能山東照宮の防火体制～	ふるさと紀行
あなたとひととき	第一テレビ 11：15～11：30	※青少年の未来にかける ～次代の担い手を健全に育成するには～	明日の商店街づくり ～商店街振興に必要なもの～	広域市町村圏 ～総合的な地域づくり～	技術新時代 ～県内企業が生き残る道～	自然と親しむ

番組名	放送局・時間	2日(土)	10日(日)	17日(日)	24日(日)	31日(日)
ごぞんじですか	テレビ静岡 11：40～11：55	※新しい婦人をめざして（前編） ～主婦が語る未来の婦人像～	新しい婦人をめざして（後編） ～主婦が語る未来の婦人像～	中小企業情報センター ～情報化時代に果す役割～	伝統産業に生きる ～静岡漆器～	愛の光を！ ～静岡県アイバンク～

※1月1週は正月特別編成のため、次のように放送日時が変わります。
SBSテレビ＝3日9：15～9：30　第一テレビ＝2日17：40～17：55
けんみんテレビ＝5日17：35～17：50　テレビ静岡＝2日6：45～7：00

◎こんにちは県庁です　SBSラジオ　9：30～9：40（月～金）
◎県政だより　有線放送　朝・昼・晩　（月～土）